



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 ロート製薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4527 URL <https://www.rohto.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 杉本 雅史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CF0 (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	225,895	12.3	32,267	△8.5	33,383	△10.4	24,806	△5.2
2024年3月期第3四半期	201,163	14.1	35,262	23.3	37,247	26.1	26,157	20.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 26,099百万円(△28.5%) 2024年3月期第3四半期 36,479百万円(4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	108.73	108.42
2024年3月期第3四半期	114.66	114.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	403,859	267,179	63.3
2024年3月期	346,175	247,036	71.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 255,688百万円 2024年3月期 245,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.00	—	15.00	27.00
2025年3月期	—	16.00	—		
2025年3月期(予想)				20.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	18.2	43,200	7.9	44,200	4.2	32,200	4.1	141.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

ソアー・アールツーエム社、ロート・メンソレータム・オーストリア社、ユーヤンサン・インターナショナル社 他 41社
 新規 44社 (社名) 除外 2社 (社名) メンソレータム社・上海 他 1社

(注) 添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	236,178,310株	2024年3月期	236,178,310株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	8,039,572株	2024年3月期	8,039,532株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	228,138,753株	2024年3月期3Q	228,138,911株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間のわが国の経済は、雇用や所得環境の改善、海外からの渡航者の増加により、個人消費については若干の持ち直しが見られますが、本格的な景気回復には至っておりません。一方、アメリカの今後の政策動向や海外経済の減速懸念の持続、為替や株価変動など金融市場の不安定な状況の継続、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰による国内物価の上昇等、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指し「総合経営ビジョン2030」の実現に向けて取り組んでおります。

その結果、売上高は2,258億9千5百万円（前年同期比12.3%増）と大幅な増収となりました。国内におきましては、お客様のニーズに合った商品提案やインバウンド需要の増加により増収となりました。海外におきましても、お客様のニーズに合った商品提案や円安の影響に加えて、新たに株式を取得したシンガポール漢方薬製造販売企業ユーヤンサン・インターナショナル社やオーストリアのモノ社を連結の範囲に含めたことにより増収となりました。

利益面につきましては、原価率の上昇に加え研究開発費の計画的な増加により販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は322億6千7百万円（同8.5%減）、経常利益は333億8千3百万円（同10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、248億6百万円（同5.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、1,262億4千5百万円（前年同期比6.9%増）の増収となりました。

新製品が好調なリップクリームやサプリメントの「ロートV5」、「肌ラボ」、「メラノCC」、高額目薬等が引き続き好調に推移いたしました。国内グループ会社におきましては、ロートニッテン(株)やクオリテックファーマ(株)が増収に寄与しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、原価率の上昇に加え研究開発費など販売費及び一般管理費の計画的な増加により184億8千3百万円（同14.7%減）と減益となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、151億4千7百万円（前年同期比10.6%増）と大幅な増収となりました。

米国のOTC目薬や、医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社が好調に推移しました。また、「肌ラボ」が好調なブラジルの連結子会社も増収に貢献しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、ハイドロックス・ラボラトリーズ社やブラジルの連結子会社の利益改善が貢献して、10億8千4百万円（同12.4%増）と大幅な増益となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、134億1千万円（前年同期比27.4%増）と大幅な増収となりました。

主力の消炎鎮痛剤は中東向けの出荷時期のずれの影響などで減少したものの、ポーランドのダクス・コスメティクス社が「Perfecta」や販売国を拡大した「Hadalabo Tokyo」の好調を受け増収に貢献しました。また、2021年から「ロート ドライエイド」により目薬市場の開拓を進めており、好調に推移しています。加えて、モノ社も売上に貢献しています。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、主力の消炎鎮痛剤の減収と原価率の上昇により、9億7千7百万円（同6.3%減）と減益となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、685億4千7百万円（前年同期比20.8%増）と大幅な増収となりました。

引き続きベトナム、インドネシアなどの東南アジアが好調に推移しました。加えてユーヤンサン・インターナショナル社が売上に寄与しました。一方、ミャンマーでは輸入規制の厳格化の影響を受けて原材料や製品の輸入が困難になり引き続き大幅な減収となりました。商品別ではフケ抑制シャンプー「セルサン」、「肌ラボ」、日やけ止め等が増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、ユーヤンサン・インターナショナル社ののれんの償却に加えミャンマーの減収による影響があり、108億1千5百万円（同0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は4,038億5千9百万円となり、前連結会計年度末より576億8千4百万円増加いたしました。これは、のれんが437億3千1百万円、有形固定資産のその他が153億2千7百万円、商品及び製品が98億6千5百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が274億9千7百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は1,366億8千万円となり、前連結会計年度末より375億4千1百万円増加いたしました。これは、短期借入金157億1千3百万円、長期借入金125億9千7百万円、それぞれ増加した一方、未払費用が16億2千2百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては2,671億7千9百万円となり、前連結会計年度末より201億4千3百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が125億8千4百万円、非支配株主持分が103億9千7百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、2024年8月7日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,210	61,713
受取手形及び売掛金	44,744	54,581
電子記録債権	24,779	19,810
商品及び製品	26,414	36,280
仕掛品	3,914	4,821
原材料及び貯蔵品	16,329	20,154
その他	9,773	8,596
貸倒引当金	△408	△511
流動資産合計	214,759	205,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,871	32,760
その他（純額）	38,736	54,063
有形固定資産合計	68,607	86,824
無形固定資産		
のれん	2,285	46,017
その他	6,931	8,539
無形固定資産合計	9,217	54,556
投資その他の資産		
投資有価証券	44,337	48,077
その他	16,262	16,316
貸倒引当金	△7,008	△7,361
投資その他の資産合計	53,590	57,032
固定資産合計	131,415	198,413
資産合計	346,175	403,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,991	20,277
電子記録債務	4,132	3,653
短期借入金	5,304	21,018
未払費用	21,985	20,363
未払法人税等	5,071	5,452
賞与引当金	3,685	2,324
役員賞与引当金	50	37
その他	29,865	33,546
流動負債合計	87,087	106,672
固定負債		
長期借入金	5,190	17,788
退職給付に係る負債	2,548	2,696
債務保証損失引当金	37	-
その他	4,275	9,522
固定負債合計	12,051	30,007
負債合計	99,138	136,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	4,516	-
利益剰余金	209,399	221,983
自己株式	△4,939	△4,939
株主資本合計	215,480	223,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,276	11,296
為替換算調整勘定	18,594	20,281
退職給付に係る調整累計額	591	561
その他の包括利益累計額合計	30,461	32,139
新株予約権	382	382
非支配株主持分	710	11,108
純資産合計	247,036	267,179
負債純資産合計	346,175	403,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	201,163	225,895
売上原価	83,743	96,898
売上総利益	117,419	128,997
販売費及び一般管理費	82,156	96,729
営業利益	35,262	32,267
営業外収益		
受取利息	1,095	982
受取配当金	470	545
持分法による投資利益	69	154
その他	1,058	728
営業外収益合計	2,694	2,412
営業外費用		
支払利息	180	564
為替差損	-	55
貸倒引当金繰入額	-	352
投資事業組合運用損	165	-
その他	363	323
営業外費用合計	710	1,296
経常利益	37,247	33,383
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,224
関係会社株式売却益	-	39
国庫補助金	230	55
特別利益合計	230	2,318
特別損失		
減損損失	-	16
固定資産圧縮損	230	55
投資有価証券評価損	676	811
関係会社株式評価損	-	23
特別損失合計	906	906
税金等調整前四半期純利益	36,570	34,795
法人税等	10,039	10,183
四半期純利益	26,530	24,611
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	372	△194
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,157	24,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	26,530	24,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,538	20
為替換算調整勘定	8,416	1,498
退職給付に係る調整額	△7	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	9,948	1,487
四半期包括利益	36,479	26,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,012	26,484
非支配株主に係る四半期包括利益	467	△384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	6,009百万円	7,660百万円
のれんの償却額	295百万円	838百万円

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したソアー・アールツーエム社及び、新たに株式を取得したことに伴い、ユーヤンサン・インターナショナル社他36社を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したロート・メンソレータム・オーストリア社及び、新たに株式を取得したことに伴い、モノ社他3社を連結の範囲に含めております。また、メンソレータム社・上海を清算したため連結の範囲から除外しています。

持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式を売却したことに伴い、カフェ・カンパニー(株)を持分法適用の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	118,078	13,699	10,528	56,748	199,055	2,107	201,163	—	201,163
(1) 外部顧客への売上高	118,078	13,699	10,528	56,748	199,055	2,107	201,163	—	201,163
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,417	1,253	106	3,461	7,239	37	7,277	△7,277	—
計	120,495	14,953	10,634	60,210	206,294	2,145	208,440	△7,277	201,163
セグメント利益	21,660	964	1,042	10,839	34,507	200	34,708	554	35,262

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額554百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高 顧客との契約から生じる収益	126,245	15,147	13,410	68,547	223,351	2,543	225,895	—	225,895
(1) 外部顧客への売上高	126,245	15,147	13,410	68,547	223,351	2,543	225,895	—	225,895
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,836	1,473	123	4,117	8,550	69	8,619	△8,619	—
計	129,082	16,621	13,533	72,664	231,902	2,612	234,515	△8,619	225,895
セグメント利益	18,483	1,084	977	10,815	31,361	210	31,571	696	32,267

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、オーストリア等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、シンガポール、マレーシア、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額696百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アジア」セグメントにおいて、ユーヤンサン・インターナショナル社の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、44,792百万円であります。

「ヨーロッパ」セグメントにおいて、モノ社の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,715百万円であります。

また、「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては16百万円であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、ユーヤンサン・インターナショナル社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。また、第2四半期連結会計期間において、モノ社の株式を取得し新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の「アジア」のセグメント資産が53,293百万円、「ヨーロッパ」のセグメント資産が10,766百万円、「その他」のセグメント資産が340百万円増加しております。